

福岡県 国道 ×号線改良工事 工事

出来形管理図表

~~品質管理表~~

種 目 路床

下層

上層

表層

事業所

支所

請負会社名 ウェストフィールド(株)

注)1. 出来形(品質)管理図表は、本表紙様式により、工種毎に綴るものとする。ただし、小規模工事については、監督職員の承認を得て、全工種分を一括綴りとすることができる。

2. 種目は、基準高、厚さ、幅等と記入する。

国道 ×号線改良工事 工事

出来形管理図表

品質管理表

種 目 路床

下層

上層

表層

事業所

支所

請負会社名 ウェストフィールド(株)

- 注)1. 出来形(品質)管理図表は、本表紙様式により、工種毎に綴るものとする。ただし、小規模工事については、監督職員の承認を得て、全工種分を一括綴りとする事ができる。
2. 種目は、基準高、厚さ、幅等と記入する。

出来形管理測定表

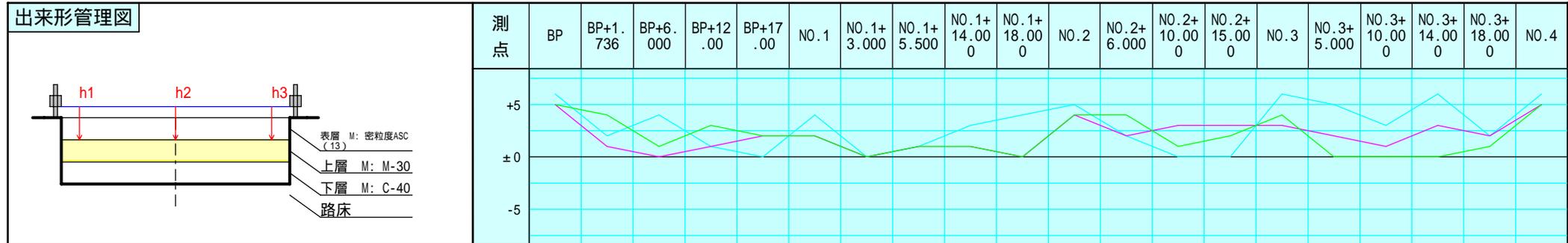
福岡県

工事名： 国道 x号線改良工事

工種： 上層

測定者： 日本 太郎 印

1	特性	h1	2	特性	h2	3	特性	h3	4	特性	5	特性
設計値		150	設計値		112	設計値		150	設計値		設計値	
許容範囲			許容範囲			許容範囲			許容範囲		許容範囲	



特性	h1			特性	h2			特性	h3			特性				特性				
	測点	設計値	測定値		設計値との差	測点	設計値		測定値	設計値との差	測点		設計値	測定値	設計値との差		測点	設計値	測定値	設計値との差
BP	150	156	+6	BP	112	117	+5	BP	150	155	+5									
BP+1.736	150	152	+2	BP+1.736	112	113	+1	BP+1.736	150	154	+4									
BP+6.000	150	154	+4	BP+6.000	112	112	±0	BP+6.000	150	151	+1									
BP+12.00	150	151	+1	BP+12.00	112	113	+1	BP+12.00	150	153	+3									
BP+17.00	150	150	±0	BP+17.00	112	114	+2	BP+17.00	150	152	+2									
NO.1	150	154	+4	NO.1	112	114	+2	NO.1	150	152	+2									
NO.1+3.000	150	150	±0	NO.1+3.000	112	112	±0	NO.1+3.000	150	150	±0									
NO.1+5.500	150	151	+1	NO.1+5.500	112	113	+1	NO.1+5.500	150	151	+1									
NO.1+14.000	150	153	+3	NO.1+14.000	112	113	+1	NO.1+14.000	150	151	+1									
NO.1+18.000	150	154	+4	NO.1+18.000	112	112	±0	NO.1+18.000	150	150	±0									
NO.2	150	155	+5	NO.2	112	116	+4	NO.2	150	154	+4									
NO.2+6.000	150	152	+2	NO.2+6.000	112	114	+2	NO.2+6.000	150	154	+4									
NO.2+10.000	150	150	±0	NO.2+10.000	112	115	+3	NO.2+10.000	150	151	+1									
NO.2+15.000	150	150	±0	NO.2+15.000	112	115	+3	NO.2+15.000	150	152	+2									
NO.3	150	156	+6	NO.3	112	115	+3	NO.3	150	154	+4									
NO.3+5.000	150	155	+5	NO.3+5.000	112	114	+2	NO.3+5.000	150	150	±0									
NO.3+10.000	150	153	+3	NO.3+10.000	112	113	+1	NO.3+10.000	150	150	±0									
NO.3+14.000	150	156	+6	NO.3+14.000	112	115	+3	NO.3+14.000	150	150	±0									
NO.3+18.000	150	152	+2	NO.3+18.000	112	114	+2	NO.3+18.000	150	151	+1									
NO.4	150	156	+6	NO.4	112	117	+5	NO.4	150	155	+5									
計				計				計				計				計				
平均			3.0	平均			2.1	平均			2.0	平均				平均				

出来形管理図 (工程能力図)

工種 路床

種別

測定者 日本 太郎

印

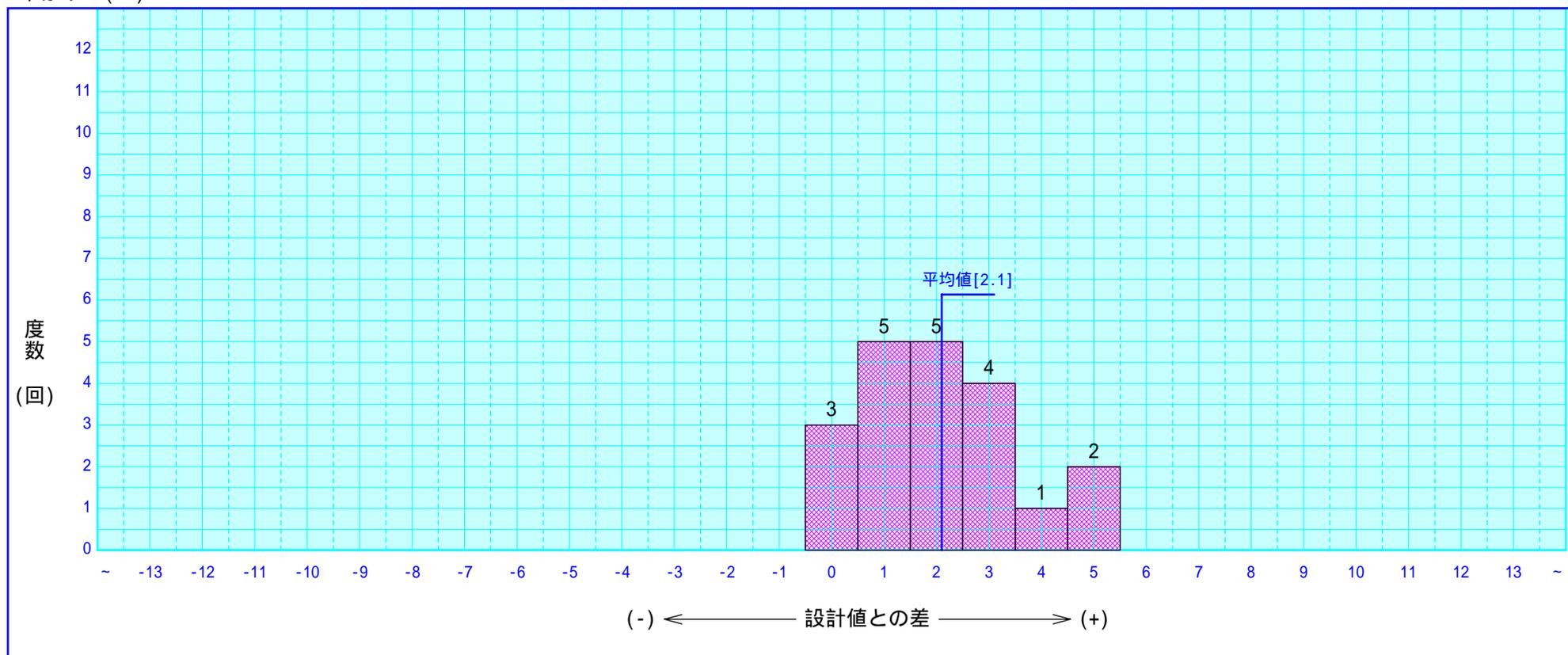
測定項目 規格値	測点	BP	BP+1.736	BP+6.000	BP+12.00	BP+17.00	NO.1	NO.1+3.000	NO.1+5.500	NO.1+14.000	NO.1+18.000	NO.2	NO.2+6.000
h1 ±40	設計値との差												規格値(基準高)
													規格値(基準高)
h2 ±40	設計値との差												規格値(基準高)
													規格値(基準高)
h3 ±40	設計値との差												規格値(基準高)
													規格値(基準高)
延長	設計値との差												規格値(延長)
													規格値(延長)
	設計値との差												

注) 不要な文字は = で消すこと。

上層 度数表

測定者 日本 太郎 印

下がり (h2)

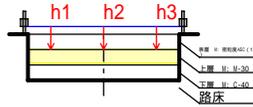


測定結果一覧表

工事名 国道 x号線改良工事
 工種名 上層

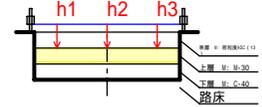
請負会社名 ウェストフィールド(株)
 測定者 日本 太郎 印

項目	管理基準値 A	規格値 B	測単	定位
				mm



h1

項目	管理基準値 A	規格値 B	測単	定位
				mm



h2

番号	月日	測点	設計値 C	実測値 D	設計値との差	実測値との差
					$E = D - C$	$F = A - E$
		BP	150	156	6	
		BP+1.736	150	152	2	
		BP+6.000	150	154	4	
		BP+12.00	150	151	1	
		BP+17.00	150	150	0	
		NO.1	150	154	4	
		NO.1+3.000	150	150	0	
		NO.1+5.500	150	151	1	
		NO.1+14.000	150	153	3	
		NO.1+18.000	150	154	4	
		NO.2	150	155	5	
		NO.2+6.000	150	152	2	
		NO.2+10.000	150	150	0	
		NO.2+15.000	150	150	0	
		NO.3	150	156	6	
		NO.3+5.000	150	155	5	
		NO.3+10.000	150	153	3	
		NO.3+14.000	150	156	6	
		NO.3+18.000	150	152	2	
		NO.4	150	156	6	

番号	月日	測点	設計値 C	実測値 D	設計値との差	実測値との差
					$E = D - C$	$F = A - E$
		BP	112	117	5	
		BP+1.736	112	113	1	
		BP+6.000	112	112	0	
		BP+12.00	112	113	1	
		BP+17.00	112	114	2	
		NO.1	112	114	2	
		NO.1+3.000	112	112	0	
		NO.1+5.500	112	113	1	
		NO.1+14.000	112	113	1	
		NO.1+18.000	112	112	0	
		NO.2	112	116	4	
		NO.2+6.000	112	114	2	
		NO.2+10.000	112	115	3	
		NO.2+15.000	112	115	3	
		NO.3	112	115	3	
		NO.3+5.000	112	114	2	
		NO.3+10.000	112	113	1	
		NO.3+14.000	112	115	3	
		NO.3+18.000	112	114	2	
		NO.4	112	117	5	

記入要項

- 「工種名」は、掘削(基準高(V))、フルーム(厚さ(T))、橋台(中心線のズレ(e))等と記入する。
- 「番号」の欄は施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測定番号を記入する。
- 「月日」の欄は測定年月日を記入する。

- 設計値との差の単位を定め、目盛りに数値を記入する。
- 部分については発注者が記入する。

上層 出来形管理図表

工事名 国道 ×号線改良工事 請負会社名 ウェストフィールド(株)

工種名 測定者 日本太郎 印

管理基準値 A		規格値 B		測定単位
+	-	+	-	
mm				

番号	月日	測点	設計値 C	実測値 D	設計値との差 E = D - C	管理基準値との差 F = A - E	設計値との差				
							-10	-5	0	5	+10
1		BP h1	150	156	6						
		h2	112	117	5						
		h3	150	155	5						
2		BP+1.736 h1	150	152	2						
		h2	112	113	1						
		h3	150	154	4						
3		BP+6.000 h1	150	154	4						
		h2	112	112	0						
		h3	150	151	1						
4		BP+12.00 h1	150	151	1						
		h2	112	113	1						
		h3	150	153	3						
5		BP+17.00 h1	150	150	0						
		h2	112	114	2						
		h3	150	152	2						
6		NO.1 h1	150	154	4						
		h2	112	114	2						
		h3	150	152	2						
7		NO.1+3.000 h1	150	150	0						
		h2	112	112	0						
		h3	150	150	0						
8		NO.1+5.500 h1	150	151	1						
		h2	112	113	1						
		h3	150	151	1						

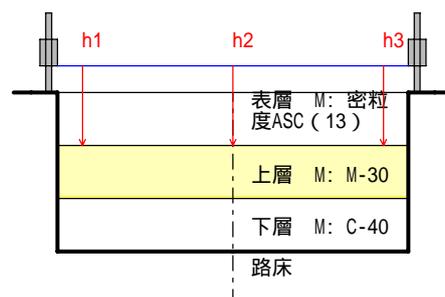
記入事項

1. 「工種名」は、掘削 (基準高 (V))、7ル-m (厚さ (T))、橋台工 (中心のズレ (e)) 等と記入する。
2. 「番号」の欄は施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測点番号を記入する。
3. 「月日」の欄は測定年月日を記入する。
4. 設計値との差の単位を定め、目盛りに数値を記入する。

h1

h2 h3

測定箇所図



アルバム添付用出来形略図

工事名：国道 x号線改良工事

工種	上層	測点	BP	出来形検測
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		156	117	155
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		154	112	151
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		151	113	153
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		150	114	152
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		154	114	152
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		150	112	150
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		151	113	151